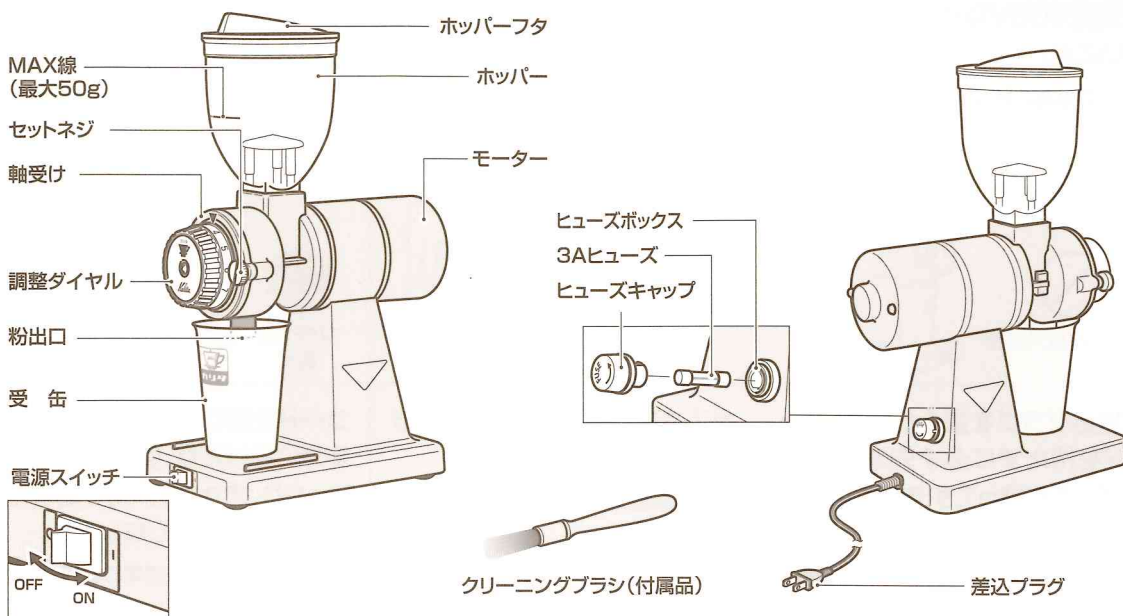
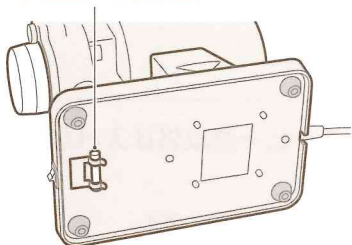


各部の名称



予備ヒューズ(本体底)

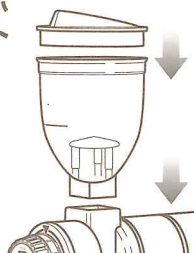


仕様

電源	AC100V 50/60Hz	定格時間	5分
消費電力	120W	ホッパー容量	50g
寸法	W120×D229×H337	受缶容量	50g
質量	2.3kg	付属品	クリーニングブラシ

正しいセット方法と使い方

1. 本体にホッパーとホッパーフタをセットします。



3. 使用する器具に合わせて、調整ダイヤルを設定してください。

	使用器具	調整目盛
調整の目安	カリタ式 ペーパー式 コーヒーマーカー	3.5(中挽き)
	サイフォン	1(細挽き)
	パーコレーター	6(荒挽き)



2. 受缶をセットします。

●受缶内部はつねに乾燥・カラの状態をセットしてください。



4. 人数分に合わせてホッパーにコーヒー豆を入れます。

●コーヒー豆の量は、1人前約10gです。

注) コーヒー豆を入れたら必ずふたをしてください。

●受缶容量は約50gです。

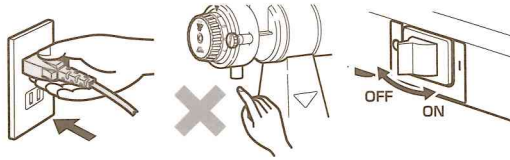
注) モーターの過熱を防ぐために、ホッパーのMAX線(約50g)を超える容量を一度に挽くことは避けてください。



5. 電源をつなぎます。

- 差込プラグを100Vのコンセントに差込んでください。
- 電源スイッチを入れて豆を挽いてください。

注)回転中は危険ですから、豆容器や粉出口の中へ指などを差込まないでください。

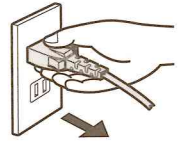


6. 出来上がり。

- 豆を挽き終わりましたらスイッチを切ってください。
- コーヒーをおいしく飲んでいただくため、豆はご飲用の都度、必要量だけを挽いてください。

7. 電源をはずします。

- コーヒーミルのご使用後は、その都度差込プラグをコンセントから抜いてください。



運転中にモーターの回転が止まった時は…

※ 異物が入りモーターの回転が停止した場合、モーターおよび電子部品の損傷を防止する目的でヒューズが切れます。

1. 異物が入った場合は、次の手順にしたがって異物の除去を行ってください。

- イ. 電源スイッチを切る。
 - ロ. 差込プラグをコンセントから抜く。
 - ハ. セットネジを取り外す。
- 二. 軸受けを引き、回転カッター軸を抜きとりカッター内に混入した異物を除去してください。
 - ホ. 内部のコーヒー粉を掃除してから、回転カッター軸を手で軽く回しながら押し込んでください。回転カッター軸の切欠部と内径の切欠部とが合いますと奥に入り、回転カッター軸が固定します。
 - ヘ. 軸受けをセットネジにてきちんと締付けます。

分解・組立手順は次項の「お手入れの仕方」もご参照ください。

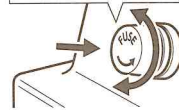
2. ヒューズが切れた場合、ヒューズボックスのキャップ部を押し込みながら止まるまで左に回しますと、キャップに付いたガラス管ヒューズを取り出すことが出来ます。(取り付けは逆の手順。)

注) 予備ヒューズが本体の底板についていますので交換してください。

ヒューズは3A以外は絶対に使用しないでください。

注) 自動車用ヒューズは使用出来ません。

取り外しと取り付け時は、必ず押し込んでから回す!
注) 押し込まないとヒューズキャップは取れません



取り付け時はヒューズキャップの爪をヒューズボックスにある上下の溝に合わせる



お手入れの仕方

お手入れの時は、必ず差込プラグをコンセントから抜いてください。

1. セットネジ (2ヶ所) を左に回し、取り外してください。

2. 回転カッター軸を取り外してください。

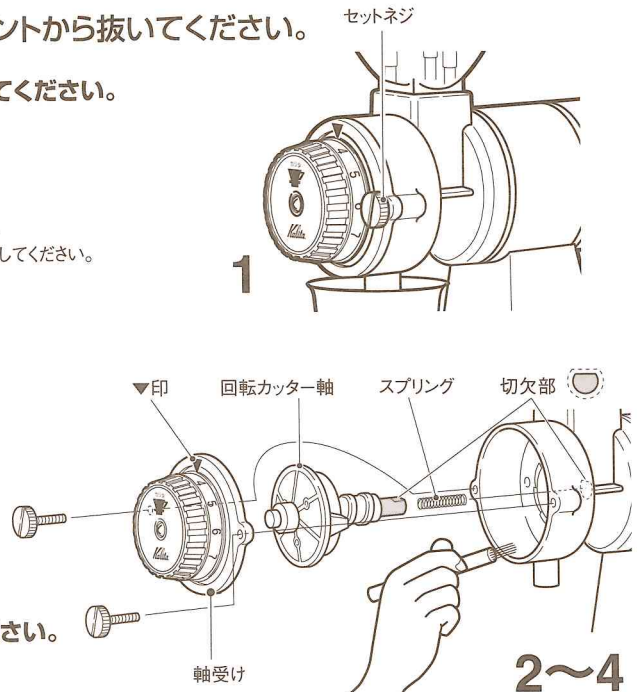
- クリーニングブラシ等でカッター部を入念に掃除してください。
- 本体、ホッパー、ホッパーフタ、受缶は乾いた布で空ぶき清掃してください。

3. 回転カッター軸を差し込みます。

注) 回転カッター軸をセットする際、スプリングが入っていることを確認してください。

注) 回転カッター軸の切欠部と、内径の切欠部を確認して差し込んでください。この時回転カッター軸を前後させスムーズに動くこと、固定カッターに当たることを確かめてください。

4. 軸受けを取付けセットネジで固定します。この時▼印の位置が上になるようにしてください。



**本体外部の
お手入れ**

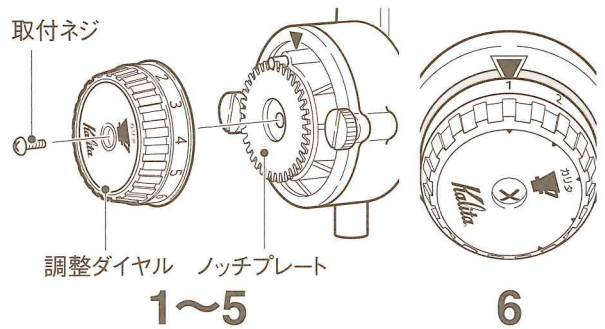
● 中性洗剤を浸し、かたく搾った布で拭いた後、洗剤が残らないようからぶきをしてください。
※ 傷や故障の原因になりますので、クレンザーや金属タワシでの清掃はおやめください。

※ シンナー、ベンジン、ベンゾール、化学ぞうきん、殺虫剤など有機溶剤を含むもので拭くとプラスチックを傷め、変質や変色、故障の原因になりますので避けてください。

5. メッシュの調整は、次項の「ダイヤル調整の仕方」に沿って調整してください。

メッシュ(挽目)調整の仕方

1. 調整はダイヤルの中心部の取付ネジをプラスドライバーで取り、調整ダイヤルを外してください。
2. 差込プラグをコンセントに差し込んでください。
3. 電源スイッチを入れモーターを回します。
4. ノッチプレートを右にゆっくり回し、軽い金属音がするまで回してください。
5. 金属音が出たところでノッチプレートを左に回し、金属音がしなくなるまで戻してください。
6. 調整ダイヤルの1(細挽き)の位置を▼印に合わせて取付ネジを締めてください。



故障とその対策

症状	原因	対策
スイッチを入れてもモーターが回らない (モーター音がしない)	1) 差込プラグがコンセントに差し込み不完全 2) 差し込みコンセント不良 3) 電源コード不良 4) 電源スイッチ不良 5) ヒューズ切断 6) モーター不良	1) 差し込みを再確認してください 2) 他の電気器具を使って確認してください 3) メーカーに点検または修理を依頼してください 4) メーカーに点検または修理を依頼してください 5) 4頁「運転中にモーターの回転が止まった時は…」2項にしたがい、予備ヒューズと交換してください 6) メーカーに点検または修理を依頼してください
モーターが回っているが回転カッター軸が回転しない	遊星歯車の破損が考えられる	取扱店もしくはメーカーに点検または修理を依頼してください
モーターの回転音がするけれど豆が挽かれない	1) カッターの目詰り 2) 粉出口の目詰り 3) 受缶内にコーヒー粉が充満している 4) 回転カッター軸の破損	1) カッター掃除又は交換してください 2) 掃除をしてください 3) 受缶内のコーヒー粉を取り出してください 4) 回転カッター軸交換をしてください
コーヒー豆を挽いている途中でモーターが急停止した場合	1) 異物混入でカッターが回転できない 2) コーヒー豆の中に異物混入 3) モーター不良	1), 2) 4頁「運転中にモーターの回転が止まった時は…」1項を参照し点検してください 3) メーカーに点検または修理を依頼してください